

一般質問

◆湯沢駅周辺複合施設等整備事業について

**質問** 今後の「市民会議」での協議内容とその組織の在り方について伺う。

**答弁** 設計から運営までを一括で行う民間事業者を公募する際の重要な情報を含んでいるため、非公開にて開催していく。また、任期を令和5年3月まで延長し、協議を継続していく。

**質問** この事業の財源の内訳について伺う。

**答弁** 概算事業費は約40・8億円と試算しており、特定財源として国庫補助金および地方債の活用を予定している。

◆観光行政について

**質問** 理想的な通年観光について市長の考えを伺う。

**答弁** 冬期の閑散期を充実させるため、雪を使ったアクティビティや屋内の体験施設などの利用推進、また、冬の食や食材も活用し、理想とする通年観光に結び付けていく。

**質問** 市内の観光推進関係団体との連携について伺う。

**答弁** 観光推進関係団体の果たす役割は非常に大きく、団体運営や方向性、効果的な相互協力の在り方についても引き続き十分な協議を行い、連携強化に努

めていく。

◆湯沢文化会館機能向上事業について

**質問** これまでの経緯と想定される予算規模を伺う。

**答弁** 建設から40年以上が経過し老朽化が進行しており、安全・安心な施設利用と利便性の向上への対応が急務となっている。予算規模は20・9億円を想定しており、工事期間は2カ年程度と捉えている。

**質問** 「音楽のまち」ゆざわの推進との関連性について伺う。

**答弁** 音楽の持つ力というものは大きいと思っている。自由に弾くことができるピアノや、音楽コンクールでの優勝など活躍した記録を展示する「栄光の棚」の設置など、文化会館のリニューアルに併せて音楽のまちの輪を広げていきたい。



ふじた たけし 藤田 健志 議員

湯沢市議会  
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を  
ご覧になれます。

◆どうする湯沢の農業  
(水田活用の直接支払交付金について)

**質問** 交付金の厳格化に伴う影響について伺う。

**答弁** 今回の厳格化には、作業を行う担い手農家が対応しきれず、利用権設定や三作業受委託の解約または更新しない事態が懸念され、返還を受けた地主も作付けを行えず、結果として耕作放棄地となってしまう可能性が高いものと想定している。

また、国ではブロックローテーションを推奨しているが、大豆やソバについては、排水対策を講じて作付けしているため水持ちしない状態となっており、水稲と転作物を交互に作付けできるように整備を繰り返すことは、コストや労力の面で経営上見合わず、難しいものと考えている。

このような状況から、直接支払交付金を受けることができなくなるケースが発生し、農家の収入が大幅に減少することを危惧している。

**質問** 本市の対応として考えられることは何か伺う。

**答弁** 制度について農家に周知していくとともに、近隣市町村の状況や県内における影響について情報収集を行い、市長会などを通じ、県や国に対して現場の課題や地域の特性を伝えていくことにより、柔軟な制度運用が図られるよう要望していきたい。

**質問** 市長の率直な意見を伺う。

**答弁** 中山間地域の農地が多数ある本市にとつて、この厳格化において交付金の対象外となるということであれば、切実な問題であり、現場の声を必ず国に届かせたいと考えている。



たかはし つねひこ 高橋 達 議員

湯沢市議会  
ユーチューブチャンネル

一般質問の動画を  
ご覧になれます。